

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-08	事務事業名 乳幼児歯科相談事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	--------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	個別歯科医療機関への受診が困難な子ども、歯および口腔の健全な発達に必要な保健行動が困難な子どもとその保護者について、歯科健診・歯科保健指導（歯みがき指導）および栄養、育児相談を含めた育児支援の機会をつくる。本事業の利用から、歯科受診に慣れ、地域の歯科医療機関へつながるよう支援し、乳幼児の口腔の健全な発育、発達を促す。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要（団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等）、補助金の概要（国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額）等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 1歳前後から3歳頃までの乳幼児で個別歯科医療機関への受診が困難な子ども、歯および口腔の健全な発達に必要な保健行動が困難な子どもとその保護者を対象に実施。保谷保健福祉総合センターで年24回実施。内容⇒健康教育・歯科健診・歯科保健指導（歯みがき指導）・身体計測、個別相談（栄養・育児・心理）。平成21年度より乳幼児期にかかりつけ医を定着させる方針のもと、[乳幼児歯科相談]から[お口の健康支援室]として、希望者から受診が困難な子ども等へ対象者を限定しての実施となった。（予算：4.1.3.21乳幼児しか相談事業費）	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他（ ）

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		9,876	1,480	1,164	3,068
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		1,125	156	252	257
地方債	千円	0	0	0	0
その他（ ）		0	0	0	0
一般財源		8,751	1,324	912	2,811
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	817	808	808	817
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	10,693	2,288	1,972	3,885
単位当たりコスト(E)=(D)/(利用者数)	千円	3	2	3	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①開催回数	実績値 回	114	48	24	24
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
開催回数⇒歯科相談室またはお口の健康支援室の実施回数／【歯科相談室】は身近な地域でかかりつけ医を持っていただくことを推進していくため、平成21年度より【お口の健康支援室】として変更し実施することになった。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 利用者数	目標値 人	3,420	1,440	720	720
	実績値 人	3,943	1,497	679	
二 かかりつけ歯科医有の割合	目標値 %	60	60	60	60
	実績値 %	26.9	30	38.4	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
利用者数の減少は、かかりつけ歯科医を推進するために対象者を変更したことによる。利用者数は年間延べ利用者数。目標値は開催回数×予定人数。 かかりつけ歯科医を持つ者の割合の目標値は3歳児の東京都歯科保健目標とした。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見（アンケート結果など）	歯医者さんでは口をあげられなかったが、じっくり見てもらえ口をあげられるようになった。歯の診察だけでなく身長・体重をはかってもらえたり、個別の相談にものってもらえよかった。歯みがき指導を丁寧にしてもらえた。
	都内26市のサービス水準との比較（平均値、本市の順位など）	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 実施方法・回数等は自治体により異なる部分もあるが、歯科相談事業はどの自治体でも行っている事業である。本市の場合、平成21年度から1歳6か月児健康診査の完全個別化に伴い、お口の健康支援室はセイフティネットの意味合いも兼ね備えた事業である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 他の母子事業・歯科医師会との連携が必要。

事業コード 04-01-08	事務事業名 乳幼児歯科相談事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-----------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充  <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施  <input type="checkbox"/> 改善・見直し  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	3	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

乳幼児期からかかりつけ歯科医を定着させる方針のもと、平成21年度より従来の[乳幼児歯科相談]から[お口の健康支援室]へと事業の見直しを行った。しかし、乳幼児期は歯科医療機関での受診が難しい子どももいるため、この事業は他事業(乳幼児健診・相談会)および歯科医師会と連携しながら実施している。  
また、同時期に1歳6か月健診が個別健診となり、かかりつけ医での健診受診が難しい場合の健診フォロー事業ともなっており、健診のセイフティネットの意味合いも兼ね備えており、市民サービスとして必要な事業となっている。  
開催回数・利用者数に関しては、市民に無理なく・混乱なく事業形態を移行していくために段階的に回数・対象者の見直しを行ったため経年経過の変動が大きくなっているが、かかりつけ医の定着とあわせ事業の方針・目的に沿った利用者層になった。  
今後も他事業・歯科医師会と連携して、継続実施していく必要がある。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 継続実施  <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	1	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	2	

乳幼児歯科相談事業からお口の健康支援室事業へと見直しされたことから、経年変化を一概に利用者数の推移で比較することは出来ない。かかりつけ医の定着を促進している中で、受診困難な子供への対応として本事業の必要性・重要性を明確にしていくことが肝要である。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成21年度から「お口の健康支援室事業」として見直された本事業は、通常の歯科受診が子どもに対するセイフティネットとして有効に機能しているものと評価できる。ただし、実施内容の詳細について、一定期間経過後に評価・検証し、可能な限り効率的かつ効果的な事業実施につとめられたい。</p>